

関係機関・団体の長 殿

福島労働局雇用環境・均等室長

ハラスメント対応特別相談窓口の開設について

日頃より雇用環境・均等行政の推進につきましては、御理解と御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、厚生労働省では、ハラスメントのない職場づくりを推進するため、年末に向けて業務の繁忙等により、ハラスメントが発生しやすいと考えられる 12 月を「職場のハラスメント撲滅月間」と定め、集中的な広報を実施しております。

このため、福島労働局においても令和 6 年 12 月 2 日（月）～令和 7 年 3 月 31 日（月）までの間、労働者だけでなく事業主も利用できる「ハラスメント対応特別相談窓口」を設置することといたしました。

つきましては、別添のとおり周知用チラシをお送りしますので、会議・研修・セミナー等での配布、広報誌・情報誌への掲載等により、周知広報に御協力いただきますよう、お願い申し上げます。

記

ハラスメント対応特別相談窓口を開設します！（チラシ） … 5 部

○上記の資料についてはホームページに電子媒体を掲載しています。

福島労働局 > 各種法令・制度・手続き > 雇用均等関係 >
福島労働局 雇用環境・均等室 ハラスメント対応特別相談窓口を開設します！

(https://jsite.mhlw.go.jp/fukushima-roudoukyoku/hourei_seido_tetsuzuki/kovou_kintou/kokin_gekkan_002024.html)

福島労働局 雇用環境・均等室 指導係
〒960-8513 福島市花園町 5-46
電話 024-536-4609

ハラスメント対応特別相談窓口を開設します！

開設期間：令和6年12月2日（月）～令和7年3月31日（月）

働く人も、企業の担当者も、**ご相談ください！**

たとえば・・・

働く人

企業の担当者

セクハラについて社内の相談窓口にご相談したら「それくらいのことでは我慢しろ」と言われた。

妊娠・出産・育児休業等に関するハラスメントの相談を受けたが、会社としてどうすればよいのだろう。

育児短時間勤務をしていたら同僚から「あなたが早く帰るせいで、まわりは迷惑している。」と何度も言われ、精神的に非常に苦痛を感じている。

セクハラや妊娠・出産・育児休業・介護休業等に関するハラスメントの防止措置は、会社としてなにをする必要があるんだろう。パワハラも対策に含めた方がよいのだろうか？

長時間にわたって、繰り返し執拗に叱られてつらい。

セクシュアルハラスメント（セクハラ）とは

職場において、性的な冗談やからかい、食事やデートへの執拗な誘い、身体への不必要な接触など、意に反する性的な言動が行われ、拒否したことで不利益を受けたり、職場の環境が不快なものとなることをいいます。

パワーハラスメント（パワハラ）とは

同じ職場で働く者に対して、職務上の地位や人間関係などの職場内での優位性を背景に、業務の適正な範囲を超えて、精神的・身体的苦痛を与えられたり、職場環境を悪化させられる行為をいいます。

妊娠・出産・育児休業・介護休業等を理由とする不利益取扱い、および妊娠・出産・育児休業・介護休業等に関するハラスメント（いわゆるマタハラ）とは

妊娠・出産したこと、育児や介護のための制度を利用したこと等を理由として、事業主が行う解雇、減給、降格、不利益な配置転換、契約を更新しない（契約社員の場合）といった行為を「不利益取扱い」といいます。

また、妊娠・出産したこと、育児や介護のための制度を利用したこと等に関して、上司・同僚が就業環境を害する言動を行うことを「ハラスメント」といいます。

このほか・・・

働く人

◆ 妊娠を報告したら、事業主から「退職してもらおう」と言われました。

働く人

企業の担当者

◆ 非正規の社員も、産休・育休を取れるのでしょうか？

企業の担当者

◆ 会社として、妊娠等した労働者に、このような取扱いをしたら、法律に違反しますか？

・・・などのご相談にも対応します。

一人で悩まずに
ご相談ください

福島労働局があなたのお力になります！

匿名でも大丈夫 プライバシーは厳守します。

まずは相談してください！！ 相談は無料です！



Q. どのような相談ができますか？

A. 職場でのセクシュアルハラスメントや、上司・同僚からの妊娠・出産・育児休業・介護休業等を理由とする不利益取扱いやハラスメントについてご相談いただけます。職場でのパワーハラスメントについてもご相談いただけます。

Q. 女性しか相談できませんか？

A. 男性もご相談いただけます。また、労働者、事業主どちらからのご相談も受け付けます。

Q. 妊娠したら退職を強要されました。相談したら、労働局ではなにをするのですか？

A. 相談者のご希望や状況を踏まえ、会社に事実確認を行い、その状況に応じて会社に働きかけを行います。相談者の了解なしに、会社に相談者の情報を提供することはありません。会社との間に紛争が生じている場合は、労働局長による援助や調停会議による調停などを行っています。

福島労働局 ハラスメント対応特別相談窓口

働く方や事業主等が相談できる「ハラスメント相談特別窓口」を開設し、セクハラ、いわゆるマタハラ、パワハラ等に関するハラスメントの相談を受け付けます。

※時間をかけて、丁寧にご相談に対応しています。できるだけお早めにお電話またはご来庁ください。

○福島労働局

総合労働相談コーナー

フリーダイアル（労働者専用） 0800-800-4611

024-536-4600

雇用環境・均等室 024-536-4609

月曜～金曜
8:30～17:15

土日祝日、年末年始を除く

○労働基準監督署内の総合労働相談コーナー

福島労働基準監督署内 024-503-4859

郡山 " 024-900-9609

いわき " 0246-81-0068

会津 " 0242-26-6495

白河 " 0248-24-1391

須賀川 " 0248-75-3519

喜多方 " 0241-22-4211

相馬 " 0244-36-4175

富岡 " 0240-22-3003

月曜～金曜
9:00～16:30

土日祝日、年末年始を除く

厚生労働省

福島労働局

雇用環境・均等室

〒960-8513

福島市花園町5-46 福島第二地方合同庁舎4階

電話 024-536-4609